

2011年度 湘南藤 「 研究 基金」
地域復興アートイベントとそれに関するパネルディスカッションの報告

慶應義塾大学環境情報学部 日高一馬

1) 目的:

現在行われている各市民団体の地域貢献活動に明確な事業成果を持たせるため、各団体の特徴や活動理念またはその内容を認知そして意志共有し、点在している市民団体を結びつけることで、今後の地域貢献活動に各々の長所を活かした効果的な協働事業を創造できる契機の間になることを目的とした。

2) 場所: 茨城県ひたちなか市那珂湊本町通り商店街

3) テーマ: 今日が創る10年後の那珂みなとみらい



4) ディスカッション内容:

- ①各団体の理念や活動説明 → 意志共有
- ②那珂湊の過去現在それぞれの長短所 → 現状把握
- ③那珂湊の将来像をイメージし考える → 問題発見
- ④上記の内容を基にいま何が出来るか、どういった政策が必要か → 問題解決

5) 成果と今後

今回は那珂湊の将来について考えるといった漠然としたテーマである為、何か具体的な結論を得ることは目標ではなかった。そのような中で、互いの胸の内を 事業者だけでなく聴講さ

れている市民の方々にも広く知っていただき、那珂湊について『みんなで考えて、みんなで創ろう』と改めて思えるような建設的な発言が多く挙げられ、その場に集まった方々が心の根底に抱く地域愛を全面に打ち出した共通の地域貢献活動の理念を共有できる『一体感』のある場が実現できた。今後は、今回の地域市民団体などの中心人物に加え、一般市民の老若男女、特に『地域の過去』を知る年配層と『地域の将来』を担う若年層を主体に、包括的な地域の歴史伝承や意見交換そして未来創造の場を設け、そこで抽出された政策案を行政の参画とともに、具体的な政策実行を展開していきたいと考えている。

[謝辞]

本パネルディスカッションは、2011年度湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワーク基金」の支援によって行われた。